

屋内空間(出入口・廊下)

利用者が
不便に思う
ポイント



(車いすの方)

- 十分なスペースがないときには、方向転換しづらい。
- 車いすに乗ってドアを開けるときには、車いすのフットサポートがドアや壁にぶつかりやすい。
- 通路が狭いと、歩行者とぶつかってしまう。

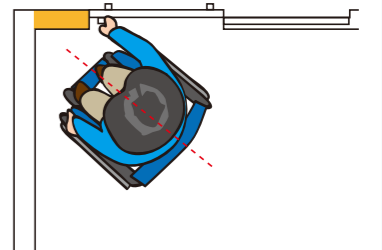
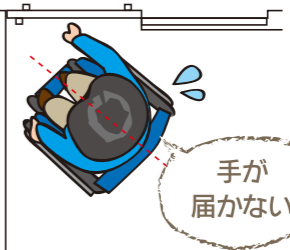


(高齢の方)

- 握力が弱くなってくると、重い扉の開閉が難しい。

そで壁なし

そで壁あり



出入口にはそで壁(15~20cm)をつけると、車いす使用者が扉を開けやすくなる。

出入口の前後には、車いすに乗っていても、扉の開閉等を行うのに十分な空間を確保する。

誘導ブロックの上に足ふきマットを置かない。

人の案内があれば助かるわ。

扉には反対側の様子がわかるようにガラス小窓等を設ける。

案内板等は床置きにしないようにして、廊下でのスムーズな移動に配慮する。

カウンター



台の高さを低くして、膝が入るスペースを設けた車いす使用者に配慮したカウンターにする。

- 床には段差を設けない。
- 床は転倒の危険があるので、すべりにくい仕上げにする。

引き戸だと車いすでも安心!

消火器等は壁埋め込み型を採用し、廊下でのスムーズな移動に配慮する。